STUDENT LIFE

週刊NY生活・アメリカの学校紹介と学生ライフのページ

日本文化国際交流

ＮＪ日本人学校中等部

ニュージャージー日本人学校（臼井治久校長）の中等部は、２月25日（火）にマンハッタンの国連国際学校（ＵＮＩＳ）の生徒43名を迎え、日本文化の体験交流を行った。グループに分かれた自己紹介の後、まず取り組んだのは折り紙の体験活動である。ＮＪ校の生徒が事前に作っていた紙風船を膨らませると、ＵＮＩＳの生徒からは歓声が上がり、英語や日本語での説明を聞きながら、実際に紙風船や手裏剣作りに挑戦した。

国連国際学校の生徒と交流したＮＪ日本人学校の生徒

さまざまな地域を扱った日本の観光名所クイズでは、ＵＮＩＳの生徒たちは難易度の高さに驚きながらも、日本語クラスで学んだ場所についての問題に手ごたえを感じ、正解すると拍手で場を盛り上げていた。その後取り組んだ百人一首大会では、まずＮＪ校の生徒が和歌の成り立ちについて２つの言語で説明をした。ＵＮＩＳの生徒にとって旧仮名遣いの取り札はすでに学習しているひらがなとはいえ難しく、誰かが札を取ると自然と拍手が沸き上がり、褒め合っていた。

この日に向けてＮＪ校の生徒はそれぞれの活動を、英語とわかりやすい日本語で説明できるように準備をしてきた。ＵＮＩＳの生徒たちが説明の段階で楽しみにしている様子や笑顔で取り組んでいる姿を目にし、ＮＪ校の生徒たちは交流会が大成功だったと実感することができた。

楽しいお店やさん

プリンストン日本語学校

３月１日（日）、プリンストン日本語学校（三井知之校長・生徒数３３３名）で幼稚部による「お店屋さんごっこ」が行われた。

雛具屋さん、おもちゃ屋さん、イタリアンレストランと３店を体験する形式で、子供たちはエプロン姿でお店屋さん役をそれぞれ担当したり、交代してお客さん役をしたりして、親子でお買い物体験を楽しんだ。

お店屋さん役では、この日のために各クラスで作成してきたお雛様や羽子板、おもちゃ、ピザセットなどのクラフトを並べて準備し、「いらっしゃいませ」「どちらにしますか？」と声をかけ、売り切れるとどの子も満足そうにしていた。また、お客さん役では、手作りのお財布とお金、買い物袋を持って「いくらですか？」と聞き、自分たちで作った商品を購入していた。緊張しながらも、自分でお金を払って商品を手にする喜びを感じているのが手に取るように分かり、笑顔溢れた時間となった。実生活で必要な買い物をする時の言葉や、品物とお金のやりとりを、遊びを通して学ぶ行事となった。

リセ・ケネディ ひな祭り集会

リセ・ケネディ日本人学校全日制幼児クラス（高松さなえ校長）では、３月３日にひなまつり集会・茶道教室が行われた。保育室に飾られた雛人形を見ながら、「何が始まるのかな？」とワクワクした様子の子どもたち。保育者による雛祭りについてのお話やクイズでたくさんのことを学んだ。中でも「三人官女はお雛様の身の回りのお世話をする人だよ」と雛人形の意味についてお話をすると、「先生みたい」「赤ちゃんなの？」と答えている子どもがおり、会場からは笑い声が聞こえてきた。

雛祭り集会後は茶室に早変わりした教室での茶道教室。講師の方をお招きし、お作法や「和敬清寂」の言葉の意味を学んだ。抹茶と茶菓子をいただく時にはお菓子を丁寧に割って一口ずつ食べたり、お抹茶の色や匂いに興味津々でお茶碗を覗き込むようにしながら飲んだりする姿が見られた。子どもたちはいつもと違う雰囲気の中で、普段味わうことのできない体験をし、とても満足した様子だった。

楽しい 週刊NY生活 デジタル版 www.nyseikatsu.com

豪州森林火災で寄付

ＮＹ育英の５、６年生

オーストラリア総領事館を訪問した育英児童

ニューヨーク育英学園全日制小学部（ニュージャージー州イングルウッドクリフス／岡本徹学園長）の５・６年生16人が、２月25日、マンハッタンにあるオーストラリア総領事館を訪問した。訪問目的は、同学園での「育英バザー」において、児童会が運営したコーナーでの売上金を寄付すること。オーストラリアでは、昨年の９月から約半年間続いた森林火災による被害が報道されている。

今回の寄付は、災害や貧困などで困っている世界の国々に向けて自分たちができることを考えようと、６年生を中心に児童会として発案されたものだ。

当日は、アラステア・Ｊ・Ｍ・ウオルトン総領事をはじめ、多くの職員が児童達を出迎え、代表の６年生ブレイク恕那さんと５年生平林哲明君が、寄付金と子ども達のメッセージが書かれた色紙を贈呈した。

子ども達からの「オーストラリアの自然や動物を助けてあげてください」というスピーチには、ウオルトン総領事から感謝の言葉が送られた。

在外公館を訪問するというニューヨークならではの貴重な経験に、子ども達は最後まで、高揚感と緊張感に満たされた様子で、自分たちが集めた寄付金を贈呈できたことは、社会に貢献するということを実際に体験する、大変素晴らしい機会となった。

「こうした経験を積み重ねることで、国際社会の一員としての自覚を持ち、幅広い視野をもった国際人として、大きく成長していくきっかけになれば」と引率した教師は話す。

米難関大を目指す大学進学セミナー

アメリカの大学進学を希望する高校生とその親をサポートするサトリ・カレッジ・プランニングは、この春に、グローバルラボ（８番街５４５番地、14階、／37丁目と38丁目の間）で「難関大学合格のために」と題した進学セミナーを開催する。詳しい日程は後日発表する予定。

アイビーリーグなど難関大学を目ざす人に必要な要素と大学独自のエッセイを書く際に留意すべき点を解説する。日本の大学と異なり、入学試験の学科だけでは選考されない米国の大学のシステムを説明する。講師はカレッジ・カウンセラーの伴里美氏。

参加費は50ドル（当日現金で支払う）。二人以上が同時に申し込むと一人当たり40ドルになる。ただし家族が二人以上で出席する場合、参加費は二人目から一人に付き10ドルのみ。

申し込みは、フルネームと子供の学年、電話番号を添えてEメール info@satoricollegeplanning.com まで。早めにセミナーなどの情報を知りたい人のためにメーリング・リストも受け付けている。

Lyceum Kennedy Japanese School リセ・ケネディ日本人学校
サマースクール2020
参加者募集中
実施期間：7月13日(月)－8月7日(金)
募集クラス：2歳児親子、幼児3-5歳児、小学生
ウェブサイトからオンラインでお申込みください。
www.lyceumkennedy.org
225 E. 43rd St., New York, NY 10017 Tel: 212-681-7929 E-mail: manhattan@lyceumkennedy.org

KIKOKUSHIJO ACADEMY
English for a Lifetime
帰国後も英語力をキープする。もっと伸ばす。
生徒たちが目標を達成している背景には、テスト対策にとどまらない
帰国生の将来を見据えた日々の取り組みがあります。
英語保持向上・中高帰国枠受験・国内海外大学受験・英検・国連英検・TOEFL・SAT
帰国を待たずに始められる通信プログラムも開講 KA Distance Learning Program
合格実績多数！詳しくは HP をご覧ください。
帰国子女アカデミー
都立大学／明大前／西船橋／たまプラーザ／目黒
www.kikokushijoacademy.com

The Japanese School of New York, Greenwich Japanese School
ニューヨーク日本人学校
初等部・中等部・特別支援学級
文部科学省派遣教員による、
一人一人を大切にしたきめ細かな指導をします。
☆日本語での教育の充実
聴いて、考えて、伝える力を伸ばしています！
☆英語教育の充実
生活に生きる実践的な英語を習得しています！
☆小中一貫教育の推進
思いやりの心をもつ素直な子供が育っています！
見学・入学　随時受付中 Tel: 203-629-9039
E-mail: gwjs@gwjs.org www.gwjs.org

2019年度入試 ニューヨーク日本人学校（合格学校 順不同）
国立高校：東京学芸大学附属高等学校
公立高校：東京都立西高等学校、東京都立日比谷高等学校
私立高校：青山学院高等部、市川高等学校、慶應義塾高等学校、慶應義塾志木高等学校、慶應義塾湘南藤沢高等学校、慶應義塾女子高等学校、国際基督教大学高等学校、栄東高等学校、渋谷教育学園幕張高等学校、専修大学松戸高等学校、豊島岡女子学園高等学校、中央大学杉並高等学校、中央大学附属横浜高等学校、桐蔭学園高等学校、西大和学園高等学校、宝仙学園高等学校、茗渓学園高等学校、立命館宇治高等学校、法政大学国際高等学校、早稲田大学高等学院、早稲田大学本庄高等学院、開智高等学校、大宮開成高等学校